



三匹目イスマミ...



足元の張り根付近で仕掛けを止めて待つとアタリ。ゆっくり取り込んだのは、30センチupの口太グロ。嬉しい一匹です



続けて釣りますが、イスマミやオナガの子（25センチ前後）が先にツケエサを食って来ます。ウキアタリから見るとまだ仕掛けが深い感じがなので、さらにハリスを短かく1ヒロにして、ハリスのジントンG5をハリから約70センチまで上にずらして少しフカしぎみにして、あまり仕掛けを止めずに少し波まかせというか潮に合わせ居るぐらいの感覚で足元を釣ると、居ました。良型と言っているサイズの口太グロ。

その後も1時間に1匹ぐらいの割合で釣れますが、潮がまた止まり、今度はゆっくりですが左沖に潮が行き出します。このタイミングで、私の好きなイサキを狙います。この「瀬の上」は、クロ口もですが、イサキも多い所です。何より家族全員好きな魚なので、お土産を確保します。

潮はわずかに動いている程度なので、「どうかな...?」と思いつつウキをBに変え、ハリスを2

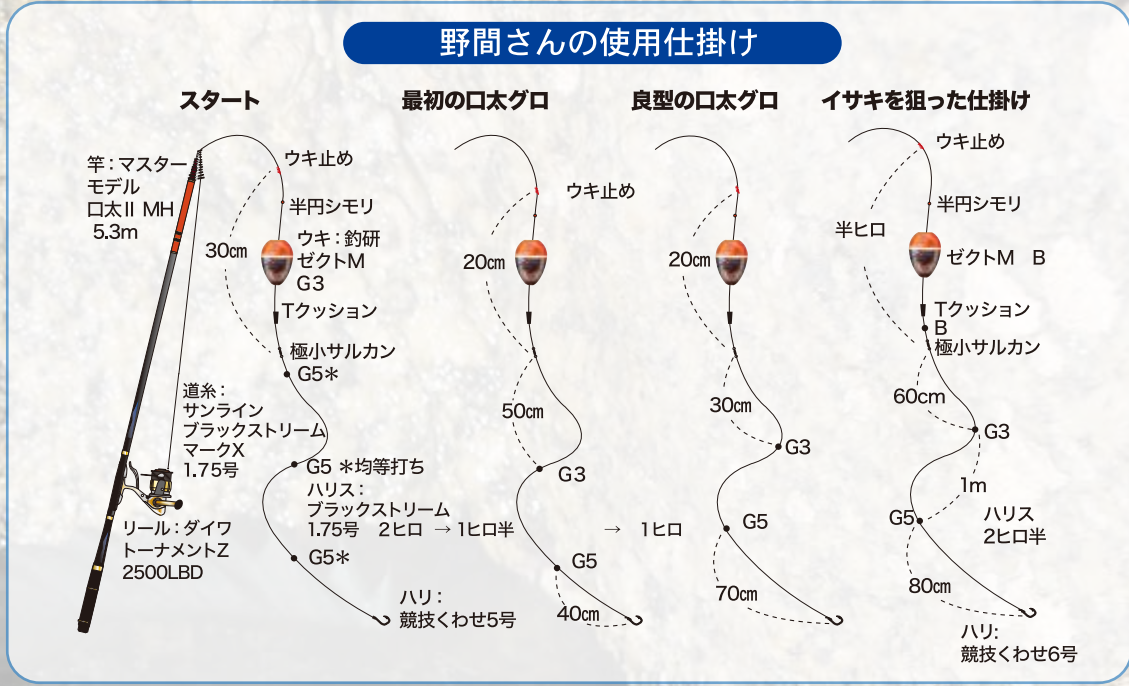
ヒロ半取って、タナは約3ヒロでスタート。一投目、エサを盗られない。二投目、高台から釣りをし、風で道糸が引つ張られるので、ハリスにG5を2個均等打ちします。

三投目、ウキを少し沈めて全層をさぐる要領にします。上のG5をG3に重くします。すると道糸が走ります。居ました。狙って釣ったイサキ。その後も道糸が走るのですが、イスマミ、口太グロとイサキは、この一匹だけです。

ただ、沖で小型の渡りグロが来たのを見ると、潮さえ良ければ沖の潮すじで、クロ口が食って来ると確信しました。この日は、ほぼ当て気味に潮が入って来たので仕方ないです（込み潮の影響だと思えます）。



ハリスを短くし、ガン玉の位置や重さを変え、ツケエをフカセ気味にして釣った2尾目は良型の口太グロでした



に目測60センチ近いイスマミも確認できます。これを見てすぐに仕掛けを作ります。仕掛けは図を参照して下さい。



ウキはゼクトMのG3からスタート



ハリスはブラックストリーム。際釣りにも安心の強さ!!



筆者愛用のパーツケース。半円シモリや潮受け、Tクッション、サルカンなどなど、仕掛け作りに欠かせない重要アイテムが入っています。

ところで、マキエサをまいて、潮の動き、エサ盗りの種類・数・動きを確認して仕掛けを作りますが、どこを狙うかで仕掛けが変わってきます。

例えば、潮がいい感じで沖に出ている時は、沖を狙う仕掛けを作ります。逆に潮動きがあまり良くない、エサ盗りがさほど気にならない、クロ口があまり沖に出ないなどの時は、足元・磯際を釣る仕掛けを作ります。

今回は、後者の足元を釣る仕掛けで、まずクロ口を狙ってみます。理由は、潮がほとんど止まっている感じなのでクロ口（約30センチ）が沖に出ない。エサ盗りは居るけどマキエサを足元に少なく入れて、沖（竿一本ぐらい先）に多めに、沖（竿一本ぐらい先）に多めに、エサ盗りをなるべく沖、クロ口を手前というように想定して手返しを早くして釣ってみようという魂胆です。



マキエはたくさんの情報を与えてくれるので大切にしたい。まだ水温も温かめのこの時期は、いきなり大量にまくとエサ盗りだらけとなつて、クロ口が釣りにくくなることもあるので注意したい。エサ盗りとクロ口の分離を図るように打ち分けたいですね



まず一投目、足元にソ〜ッと入れて一匹目。オナガの子。二投目も同じくオナガの子 ...

まず足元にクロ口用を1杯。そして沖に3杯。少し広めに打ってを繰り返して、入れ続けま。まず一投目、足元にソ〜ッと入れて一匹目。オナガの子。二投目も同じくオナガの子、三匹目イスマミ。これを繰り返して、潮が右に動き出します。少しづつ上げ潮が入ってきてるようです。

すると、ウキアタリはあるのに素バリを引く回数が多くなります。少しタナが深いようで、ハリスを二ヒロから一ヒロ半にして、足元の張り根付近で仕掛けを止めて待つとアタリ。ゆっくり取り込んだのは、30センチupの口太グロ。嬉しい一匹です。